

市報さいたま 大宮区版

おみやげ




8月号

面積 ● 12.75km²
 人口 ● 106,553人
 男性 52,989人
 女性 53,564人
 世帯 ● 45,339世帯
 ※平成16年7月1日現在




編集：大宮区役所コミュニティ課 ☎646-3020 FAX646-3161

出す側から




こうしたらどう？

-  ごみ出しにどれほど関心があるか市民アンケート等を行ってみては？
-  行政側の周知徹底の努力不足。市民の関心を高めるためにも、様々なメディアで、ごみ処理にかかる税金額などもっとPRするべき。
-  先進地域のよい方法を取り上げたらどうか。



こうしてほしい！

-  収集所ごとの記号の導入や記名式の袋、ごみ自体やごみ袋の有料化などの方法を取り入れ、不正に出される事業ごみと区別化する。
-  資源物を勝手に持っていく人がいるので、市の回収車は一目でわかるように。
-  行政・自治会・NPOなどの協力体制、システムづくりが急務です。

あなたのところは怎么样了？

-  収集所にネットは必要です。
-  びん・缶・ペットボトルの常設収集所を設けてほしい。
-  ゴミステーション自体が、細かく分別するように出来ているところがある。その方がよく守られる。

一人ひとりが心がけよう！！

-  ご近所への配慮、回収者への配慮を心がけるべき。
-  買い物袋の持参、過剰包装の敬遠などごみ以前の問題解決が重要。



昨年10月から市内のごみの出し方が変わりました。このあたりで、一度確認してみてくださいはいかがでしょう。今月はごみの出し方について、様々な方々からご意見を伺い、考えてみました。

考えてみよう！

こんなときどうするの？

Q 紙類の分別の仕方は？

A 新聞紙（広告紙を含む）、ダンボール、雑誌類、牛乳パック、その他（包装紙や空き箱、レシート等）に分けて、種類ごとにひもでしばってください。（感熱紙のものは燃えるごみへ）


Q 衣類は夏物・冬物に分けるの？

A 分ける必要はありません。リサイクル可能な衣類は束ねてひもでしばってください。コート、ジャンパー、セーター、靴下、帽子等は燃えるごみです。
 ※程度の良いものはリサイクル品として再利用されたり、細かく裁断してクッションなどの素材に使われたりします。

Q 犬のフンは燃えるごみに出していいの？

A 衛生上の問題があり、出せません。各家庭のトイレに流すことで処理をお願いします。

詳しくは「家庭ごみの出し方」「ごみ・資源の分別ガイド」をご覧ください。

 なぜそうした方が良いのか…という説明がほしいです。そのほうが分別の必要性を実感できると思う。



皆様のご協力に感謝いたします！ 廃棄物政策課から

昨年10月から「食品包装プラスチック」、「その他の紙」の2つの資源分別を開始し、毎年増加一方の家庭からの「もえるごみ」は前年比で約3,000トン減少できました。ごみの減量対策は、「出口対策（再利用・再資源化）」とともに「入口対策（発生抑制・排出抑制）」が大切です。リサイクルだけでなく、過剰包装を避ける、詰め替え用品を購入する、マイバックを持つなど「ごみとなるものを手にしない」ことを心がけていきましょう。みなさまのご理解、ご協力が不可欠です。さらなるご協力をよろしくお願いいたします。

目標 市民1人1日あたりのごみの排出量
平成19年度までに50g削減を！



パンフレットはありますか？

「家庭ごみの出し方」・「ごみ・資源の分別ガイド」のパンフレットは、各区役所生活課・支所・各清掃事務所で配布しています。
生活課／☎646・3027 東清掃事務所／☎685・0611
西清掃事務所／☎623・3899

区民レポーターがつくる

みて歩いてふれあつて

日本の中の世界・世界の中の日本 II

前回に続き、日本在住の外国人に伺った内容です。文化や社会状況の違いだけでなく、うなずけるところもありますか？



Q 日本で生活しにくいところは？

- 学校へ親がでる機会が多い。学校のシステムや連絡事項等、日本語が理解しにくい外国人にとって大変です。また日本の社会は自分と違うものに対していじめることがある。あと日本では「お返し」の習慣があるので、お付き合いが面倒になります。（在住13年 フィリピン人 女性）
- 病院にはがっかりです。とても患者側にたった医療だとは思えず、細かい説明がなされない。そして芝生がない、マンションはペット禁止など寂しい住宅環境だと思います。子どもたちのためにも学校や公園に芝生を増やしてほしい。（在住10年 ニュージーランド人 男性）
- 近所付き合いが浅く、頼みごとがしづらい。子どもやペットを預ける、引越しを手伝うなど、韓国では隣近所で頼み頼まれながら、人間関係が深まっています。日本では何でもシステム化され、便利な社会である反面、人情味に欠ける部分が多いように思います。（在住11年 韓国人 女性）

（ペンネーム ジャコ鯨）

※このインタビューは来月号に続きます。

収集する側から

基本ルールの徹底を！

- 分別の徹底を。生ごみにびん・缶が混ざれば炉を傷めることになります。
- 資源が燃えるごみの日に出されれば灰になるだけ。決められた曜日に出してください。
- 資源物が半透明や不透明な袋に入っていると、中身の確認ができない。
- 食品包装プラスチックについて分別が徹底されていない。周知を図る必要性も感じている。
- カラス対策・風対策のためにもネットがあるところは、その中におさめてください。

捨てる前に実践して！

- ごみの水分は扱いづらい。水分を切り、油等は紙にしみ込ませてから出してほしい。
- 紙おむつは汚物を処理してから、出してください。
- 重すぎると収集時に袋が破れるのでご注意ください！

危険なことも・・・

- 串など先の尖っているものは危険なので、紙などに包んでください。
- とげのある枝などは、わかりやすく表示を！

もっとうすれば・・・

- 自分たちの住んでいる街の環境を真剣に思いやるのが大切。
- 資源物の置き方を種類ごとに分けると、出す側も混ぜにくくなり、収集する側も取り残しがないようにできる。

※これらのご意見はほんの一部の方々のものであり、集約した意見ではありません。インタビューにご協力いただいた皆様ありがとうございました。



環境キャラクター「さいちゃん」

さいたま市の「さい」と再利用の「さい」から名付けられました。